

プール使用のきまり (28年度)

1 服装について

- 水泳にあつたものとする。
- 帽子の色は、1年 オレンジ、2年 白、3年 青、4年 黄、5年 赤、6年 緑、持ち物には、必ず名前をかきましょう。
- ゴーグルは使ってもいいです。

(ゴーグルをしなくても、水遊び、水泳ができるようにしましょう。)

2 プールへの行き帰り

- 交通のルールを守りましょう。
- 右側を1列で歩く。
- 道路や踏み切りの横断に気をつける。



3 泳ぐ前は・・・

- プールに入ることができないとき
 - ・体の調子が悪いとき (発熱・腹痛・かぜなど)
 - ・けがをしているとき (カットパンをはったままでは、入れません。)
- みんなが使ったプールです。きれいに使いましょう。
 - ・耳あかや手足のつめをきれいにしておきましょう。
 - ・清潔な水着を着ましょう。
 - ・お風呂に入つて、体や髪をきれいにしましょう。

・シャワーで、体全体を洗いぬいでいきましょう。

- 教室では、ぬいだものは、きちんとたんでそろえましょう。
- 準備運動は、しっかりとしましょう。プールサイドは、絶対に走りません。

4 泳ぐときは・・・

- 水慣れを十分に行いましょう。

- ・オーバーフローに腰をおろし、心臓に遠いところから水をかける。
- ・入水は、足から静かにする。

- 先生の話をきちんと聞きましょう。
- 安全に気をつけて学習しましょう。

・おぼれるまねをしたり、人をおしたりしません。

・気持ちが悪くなったら、先生に知らせ、休みましょう。

・おぼれた人などを見つけたら、大声で知らせてください。

- 鼻水、たん、つばは、オーバーフローに流す。

- 用便の後には、シャワーをあびて体をきれいにしてから、プールに入ります。

5 泳いだ後は・・・

- 使ったものは、もとの場所にしまひましょう。(ビート板は、かわかしてね。)

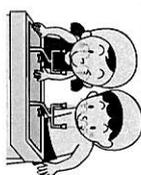
- シャワーで体を洗いぬいでいきましょう。

- 目あらい、うがいをしつかりしましょう。

- 体の水気をよくふき、忘れ物がないかたしかめましょう。

- すばやく着替えをしましょう。

- 気分が悪いときは、がまんをしないで、すぐに先生に知らせましょう。



めあてをもって、楽しくプールの使用をしましょう。

ほくわだしのめあて

